



大すき汐入

6月号

あこがれと自信をもって明日へ

こうちょう おくろ ゆうこ
校長 小黒 裕子

5月の中旬に正門横の浜木綿の手入れをしていたら、散歩をされているまちの方に「ここはいつも美容柳がきれいに咲きますね。」「浜木綿は白い花が咲いて丈夫ですね。」と話しかけていただきました。その美容柳が6月を待たず夏のような暑さとともに一齐に咲きました。

そんな暑くて朝から日差しが強く照り付けた5月28日土曜日、汐入小学校ではスポーツフェスティバルを行いました。今年度もコロナ禍で予定した日にできるかを心配していましたが、無事開催できたことにほっとしています。子どもたちはマスクをとったりつけたりし、声を出さずに拍手やうちわで応援しました。徒競走では、スタート地点ではずしたマスクはかごに入れられ、5・6年生の係の児童がゴールに運んでくれました。保護者の皆様にとってはご自分のお子さんが参加する場面だけの、しかも各家庭限定2人の参観でしたが大きな拍手をありがとうございました。ですが、いつも支援して下さる地域の方や学校関係の皆様には今年度も参観をご遠慮いただきました。コロナの状況が続く限り、がまんも続きます。色々な手間のかかる作業も続きます。ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、そのスポーツフェスティバルでの汐入小学校らしさはやはり、2学年ずつの団体演技です。今年度は1・2年エイサー、3・4年ソーラン節、5・6年Let's Dance with YOKOHAMAでした。「助け合い 輝く笑顔 ハッピー汐入っ子」のスローガンのもと、団体演技の練習では上級生が下級生に教える場面がたくさんありました。「もっと腰を低くするといいよ。」「そうそう、上手。」などの声掛けを受け、よりよい動きをマスターしていきました。感想を出し合い、お互いをたたえ合うこともできました。練習の過程でこのスローガンはしっかり意識されていました。

本番では緊張している子、真剣な表情の子、笑顔あふれる子など、どの子も精いっぱい演技を見せ、大きな拍手をもらうことができました。見ている子どもたちの表情も豊かでした。1・2年生の太鼓の音に合わせて大きな手拍子をつける場面、3・4年生の演技を見ながら来年を楽しみにして踊り出してしまう場面、5・6年生の隊形移動の素晴らしさに思わず「わー。」と大きな声を出してしまう場面などがあり、素晴らしい一体感が生まれていました。

下級生は上級生にあこがれをもち、来年の自分の姿を想像することができました。また、普段味わうことのない緊張感を味わったり、周りの人たちに認めてもらうことで自信をもったりし、明日のがんばりにつなげていくことでしょう。スポーツフェスティバルを終え、それぞれ振り返りを大切にしていってほしいです。

梅雨に向かって蒸し暑くなり、熱中症を防ぐことを優先してマスクをはずす場面が増えてきます。暑さへの対応力には個人差があり、マスクをはずす子もいれば、つける子もいます。学校では、マスクをはずすときの注意やマスクの有無をいじめにつなげない指導をしていきます。「マスクをはずす際は距離をとり、お話をしない。」が基本です。子どもたちが暑さとうまく付き合いながら、引き続きコロナ対策をしていきますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。